摩周

1　概況

上空からの観測では、噴気や地熱は認められませんでした。6 月 16 日にカルデラ内を震源とする地震が発生し、弟子屈、中標津、清里で震度 1 を観測しました。

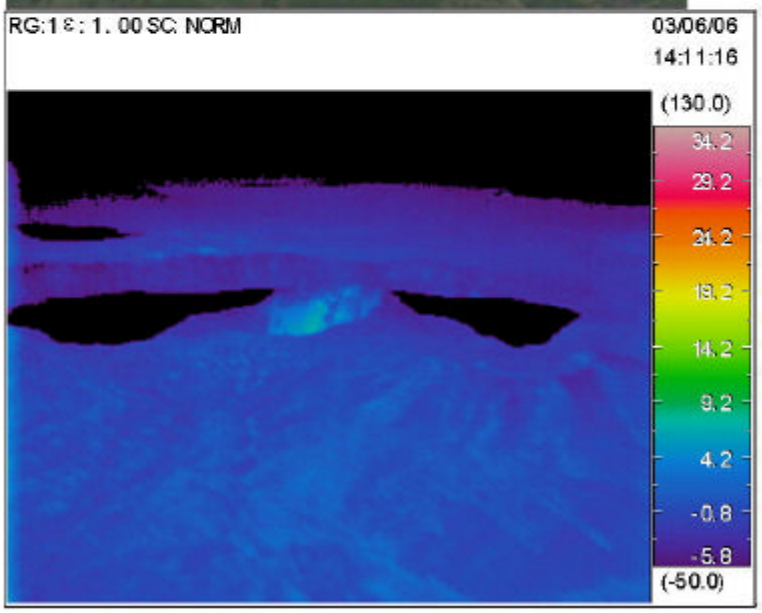
2　上空からの観測結果

摩周では噴出物の調査により、カムイヌプリで約 1000 年前まで噴火を繰り返していたと推定されています。札幌管区気象台では 1987 年、1991 年、1994 年に摩周の調査観測を実施しましたが、表面的に噴気や地熱活動は認められていません。

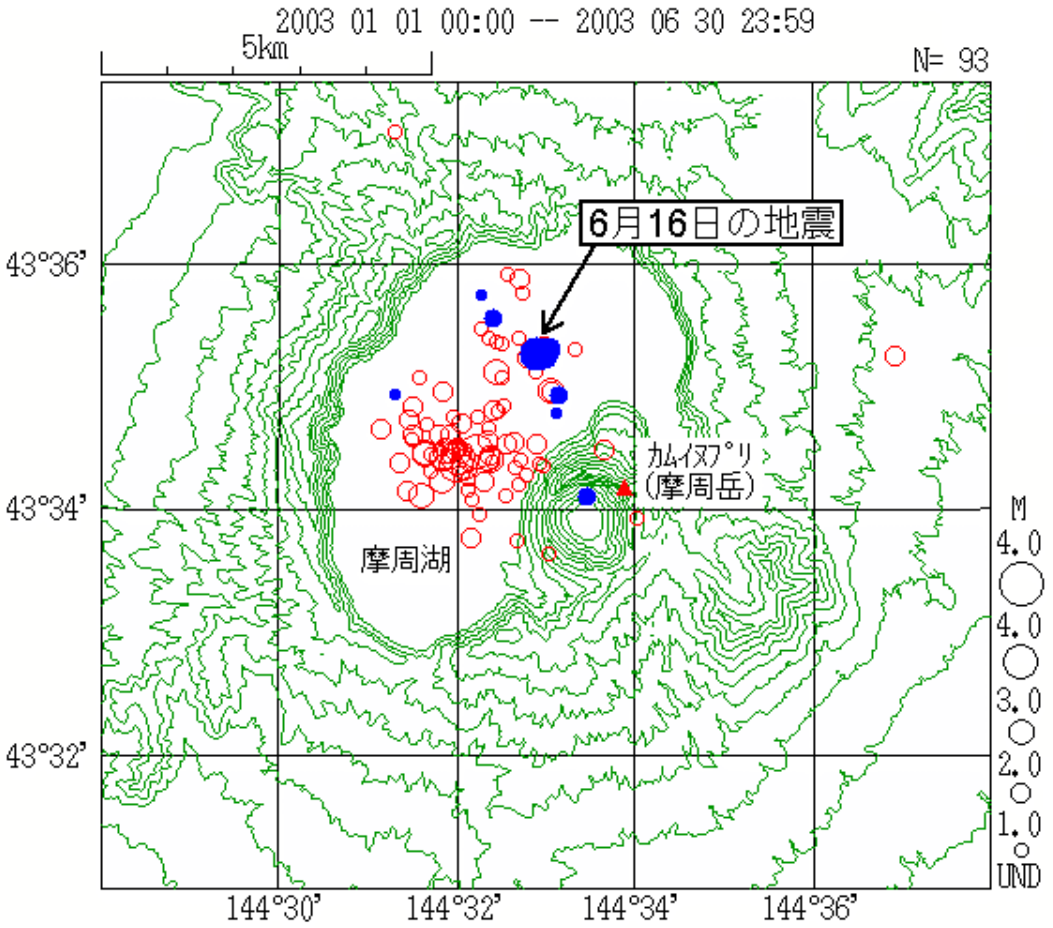
6 月 6 日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測でも、噴気などは認められませんでした。また、赤外熱映像観測では日射の影響が大きく、詳細に地熱域を識別することはできませんでしたが、顕著な熱異常は認められませんでした。

2　地震活動の状況

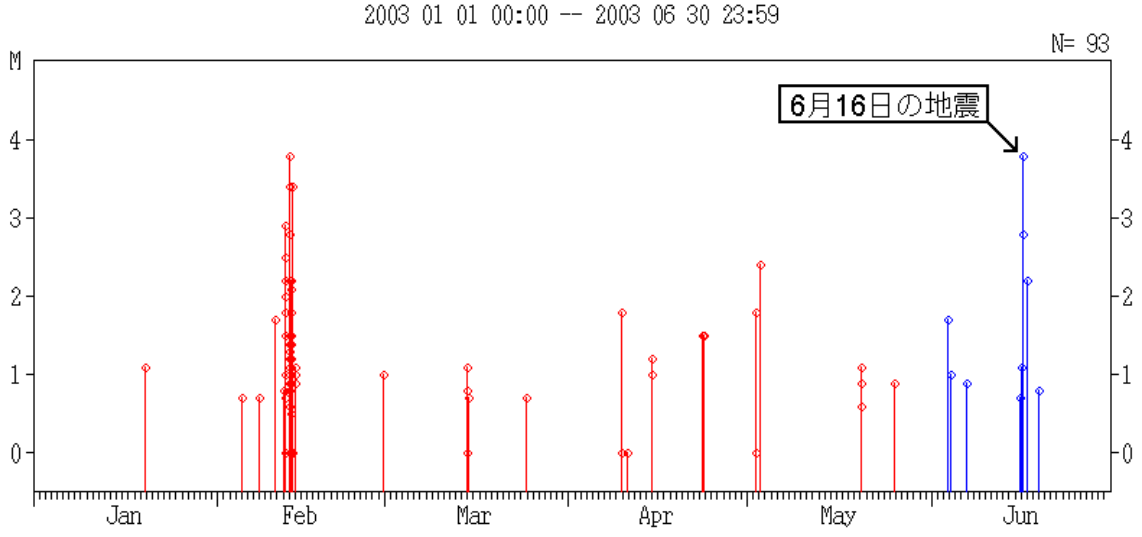
6 月 16 日 07 時 13 分頃、カルデラ内を震源とする M3.8 の地震が発生し、弟子屈町美里、中標津町養老牛、清里町羽衣町で震度 1 を観測しました。摩周付近で有感地震が発生したのは今年 2 月 12～13 日以来です。今回は地震活動経過図に示すとおり、特に地震増加はありませんでした。



南西側上空から見た摩周山頂部の赤外熱映像
（2003 年 6 月 6 日 14 時 11 分、天気薄曇：北海道開発局のヘリコプターから撮影）
赤外熱映像で緑色に表現されている領域は日射の影響です。



震央分布図（2003 年 1 月 1 日～6 月 30 日、深さ 0～15km の地震）
6 月に発生した地震は●で表しています。
この資料は、大学関係機関および気象庁のデータを用いて作成しました。



地震活動経過図（規模別、マグニチュード未決定の微小な地震は M=0 として表示）